

授業科目の区分等：基礎教育科目 表現力の養成

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	1	選択
担当教員			
渡邊 美代子・金澤 智			
C (商学部)	L (基礎科目)	LG (語学・言語学)	201 (中級科目)

授業のねらい (概要)	<p>英語でコミュニケーションができるということは、単に英語力を養うことにとどまらない。英語はあくまでも伝達手段であるから、伝えたい知識や自分の意見・考えを持っていなければ、コミュニケーションは成立しない。つまり、文法力・語彙力を有していても、話す内容がなければ、コミュニケーションには至らないということである。そして、知識の獲得と思考という知的作業は、修練を要するものの、変化の激しい社会に対応できる資質・能力として必須である。</p> <p>この授業では、身近なトピックを取り上げ、多角的な思考・論理に触れながら、自分の意見・見解を形成するという作業を通して、それらを平易な、明確な英語で表現することに親しむ。英語Ⅰ・Ⅱで習得した英語力を実践的な運用能力につなげることがねらいである。</p>
授業計画	<p>第1回 Course Introduction and Outline 予習 (時間) : シラバスを読み、科目内容を理解するとともに、単位取得に要求されていることを確認する。(20分) 復習 (時間) : 英語の必要性を認識し、将来どのように役立てたいかを思い描いてみる。(20分)</p> <p>第2回 Unit 1 : University Entrance in Autumn 予習 (時間) : Unit 1 (pp.1-5) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 1 (pp.1-5) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第3回 Unit 4 : Foreign Sports Players 予習 (時間) : Unit 4 (pp.16-20) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 4 (pp.16-20) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第4回 Unit 5 : Experiences vs. Material Goods 予習 (時間) : Unit 5 (pp.21-25) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 5 (pp.21-25) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第5回 Unit 6 : First Date 予習 (時間) : Unit 6 (pp.26-30) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 6 (pp.26-30) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第6回 Unit 7 : Consumption Tax 予習 (時間) : Unit 7 (pp.31-35) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 7 (pp.31-35) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分) 予習 (時間) : Unit 7 (pp.31-35) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 7 (pp.31-35) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第7回 中間試験 既習内容の確認 (not specified:任意)</p> <p>第8回 Unit 8 : Female Pop Groups 予習 (時間) : Unit 8 (pp.36-40) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 8 (pp.36-40) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第9回 Unit 9 : Social Networking Services 予習 (時間) : Unit 9 (pp.41-45) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 9 (pp.41-45) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第10回 Unit 10 : Using Smartphones while Walking 予習 (時間) : Unit 10 (pp.46-50) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 10 (pp.46-50) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第11回 Unit 12 : Video Gaming 予習 (時間) : Unit 12 (pp.56-60) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習 (時間) : Unit 12 (pp.56-60) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p>

	<p>第12回 Unit 13: Celebrating Foreign Festivals 予習(時間): Unit 13 (pp.61-65) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習(時間): Unit 13 (pp.61-65) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第13回 Unit 14: Eating on the Train 予習(時間): Unit 14 (pp.66-70) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習(時間): Unit 14 (pp.66-70) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第14回 Unit 17: Blood Types 予習(時間): Unit 17 (pp.81-85) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習(時間): Unit 17 (pp.81-85) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p> <p>第15回 Unit 18: Cosmetic Surgery 予習(時間): Unit 18 (pp.86-90) 必要な語彙・イディオムを調べ、For と Against のパッセージを読む。更に、Comprehension を通して内容を把握する。(30分) 復習(時間): Unit 18 (pp.86-90) 双方の主張の根拠・論拠を整理し、自己の見解を確立するとともに、それを英語で伝えられるようにする。(30分)</p>
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	<p>DP(商学部)の1項目を意識した科目となっている。 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP(経営学科)の1項目を意識した科目となっている。 3. 語学力を持ち、グローバルな視野に立って考える能力</p> <p><b>【身に付くスキル】</b> 表現力・グローバルな視野</p>
到達目標	<p>①身近なトピックに関する英語語彙を習得する。 ②まとまった英語文を読み、理解することができる。 ③思考力を養うとともに、自分の意見や考えを簡単な英語で表現できる。 ④簡単な英語を用いて自・他の要求を満たすことができる。 ⑤TOEIC 350~450 レベルの語彙、文法、リーディングに対応できるようになる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>提出課題については、修正箇所を赤を入れ、返却する。 中間試験については、採点后に返却し、注意点等について授業内で解説を加える。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語学は、地道な努力が必要とされる積み重ねの教科である。したがって、継続する学修姿勢が求められる。</li> <li>・CDやカセットを使用するため、授業中の出入りを厳禁する。</li> <li>・提出物はワープロで作成するようお願いする。</li> <li>・英語Ⅰ・Ⅱを履修のうえ、履修するのが望ましい。</li> </ul>
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①&amp;②を統合して評価する。 ①課題提出、学修意欲(50%) ②中間・期末定期試験(50%)</li> </ul>
教科書	<p>Two Sides to Every Discussion 〈英語で考え、英語で発信する〉 ISBN番号: 978-4-7919-4784-3 著者名: Jonathan Lynch・委文光太郎 出版社: 成美堂 発行年: 2015年 価格: 2052円</p>
参考書・教材	
備考	演習科目
教員との連絡方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール(アドレスは各担当教員が授業内で周知する)</li> <li>・オフィスアワー(時間帯は各担当教員が授業内で周知する)</li> </ul>